

【藤井寺市】

校務DX計画

1. 校務のデジタル化

- ・FAXでのやり取りや押印について、クラウドサービスの活用や書類の電子化を推進する
- ・児童採点システムと、学習アプリと連携することで、業務量の削減を図る。
- ・令和3年度より校務支援システムを導入し、教員間の情報共有を推進し利便性や指導力の向上を図っている。今後はクラウド活用を前提としたデータ連携による更なる利便性の向上を図るべく、ゼロトラスト構想をベースとした教員の働きやすさ 教育活動の高度化を可能とする環境を整備する。具体的には児童生徒の個人情報等を取り扱う校務系ネットワーク・教育活動で利用する学習系ネットワークについて、アクセス制御によるセキュリティ対策を十分講じた上でネットワークの統合を推進する。また、教育支援ツールと保護者連絡アプリなどの連携により教員の負担軽減や保護者とのコミュニケーションの迅速化を推進させることでICT機器を効果的に活用したよりよい学校づくりに取り組んでいく。

2. 1人1台端末の活用と個別最適・協働的な学びの充実

- ・1人1台端末を活用した個別最適・協働的な学びの充実には、教職員がアプリを積極的に利活用することが前提となる。そのため、各アプリの効果的な利活用に関する研修を毎年実施する。

3. 学びの保障

- ・不登校児童生徒については、希望があった場合に端末を活用した授業への参加・視聴の機会が提供できる体制を整備する。
- ・外国人児童生徒や特別な支援を要する児童生徒等、児童生徒の実態に応じて端末を活用した支援を実施する体制を整備する。